
IntelliTrax2TM




設定および操作

 x-rite

記号が表示されている箇所は必ずお読みください。

この記号は危険を引き起こす可能性がある、または注意を払う必要があることを表します。

CE Declaration (ヨーロッパ)

 X-Rite, Incorporated はこれにより、本 AT3 シリーズが指令 2014/35/EU (LVD)、2014/30/EU (EMC)、RoHS EU 2015/863 の基本条件および関連条項に準拠することを宣言します。

Federal Communications Commission Notice (米国)

NOTE: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class A digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference when the equipment is operated in a commercial environment. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instruction manual, may cause harmful interference to radio communications. Operation of this equipment in a residential area is likely to cause harmful interference in which case the user will be required to correct the interference at his own expense.

Industry Canada Compliance Statement (カナダ)

CAN ICES-3 (A) / NMB-3 (A)

機器の注意



エックスライト社により承認された用途以外に本製品を使用した場合、設計・機能に影響を与えるだけでなく、危険性を伴うことがあります。

警告:本機を爆発物の付近に設置しないでください。



廃棄物処理の手順：廃電気・電子機器指令（WEEE）の対象となる機器製品は指定の収集場所にて廃棄してください。

著作権表示

本説明書に含まれる情報は、X-Rite, Incorporated が有する著作権によって保護されています。

本情報を含む全ての出版物に対し、本装置を設置、操作、維持する以外の目的で使用することはできません。X-Rite, Incorporated から書面での許諾を取得せずに、本説明書の如何なる部分も、電子、磁気、機械、光学、手動等の形式を問わず、複製、複写、他言語またはコンピュータ用語に翻訳することはできません。

Patents: www.xrite.com/ip

“© 2020, X-Rite, Incorporated. All rights reserved”

X-Rite® および IntelliTrax® は X-Rite, Incorporated の登録商標です。その他のロゴ、商標、製品名は、各所有者の商標です。

限定保証

X-Rite は、本製品に対して X-Rite からの出荷日から 12 ヶ月の構成および製造の保証を提供します。保証期間内は欠陥部品を無償で交換または修理いたします。

X-Rite の保証は、次から発生する保証製品の欠陥を除きます。(i) 出荷後の損害、事故、乱用、誤使用、放置、変更等の X-Rite の推奨、付属書類、公表仕様、業界基準に沿わない使用。(ii) 推奨される仕様以外の操作環境における装置の使用、または X-Rite が提供する保守手順書や公表仕様に準拠しない場合。(iii) X-Rite または認定された会社以外による修理またはサービス。(iv) X-Rite より製造、流通、承認されていない部品や消耗品の使用により発生した保証製品の欠陥。(v) X-Rite より製造、流通、承認されていない付属品または修正が保証製品に追加された場合。また、消耗品および製品の手入れは保証に含まれません。

上記保証の破損に対する X-Rite の限定義務は、いかなる部品の無償修理または交換とし、保証期間内に欠陥品と証明され、かつ X-Rite が合理的に納得できるものに限り、X-Rite による修理または交換により保証期間は回復されず、また保証期間は延長されません。

X-Rite より指定されたサービスセンターに欠陥製品を送付される際は、梱包および郵送はお客様の自己負担となります。製品の返送費用は、X-Rite のサービスセンターが担当する地域のみ、X-Rite が負担いたします。指定地域外の場合、郵送料、関税、税金等の全ての費用はお客様の自己負担となります。保証期間中にサービスをお受けになる場合は、領収書などの購入日を証明する記録が必要です。本製品は絶対に分解しないでください。ユーザーにより分解された場合、製品保証は無効となります。装置が作動しない、あるいは正しく機能しないと思われる場合は X-Rite の東京サービスセンターまでお問い合わせください。

これらの保証は購入者にのみ適用されるもので、暗示・明示を問わず、市販性、特定目的や用途への適合性、非侵害性の暗示された保証を含む、またそれに限らず他の保証すべてに代わるものです。X-Rite の経営陣以外の社員または代理店は、前述以外のいかなる保証も提供することが承認されていません。

X-Rite はお客様の製造コスト、経常経費、利益の損失、信用、その他の費用、および契約いかなる保証の破損、過失、不正行為、その他の法理による間接的、特別、付随的、重要な他の損害に責任を負いません。いかなる場合においても、これによる X-Rite の責任は、X-Rite が供給した商品またはサービスの価格を上限とします。

目次

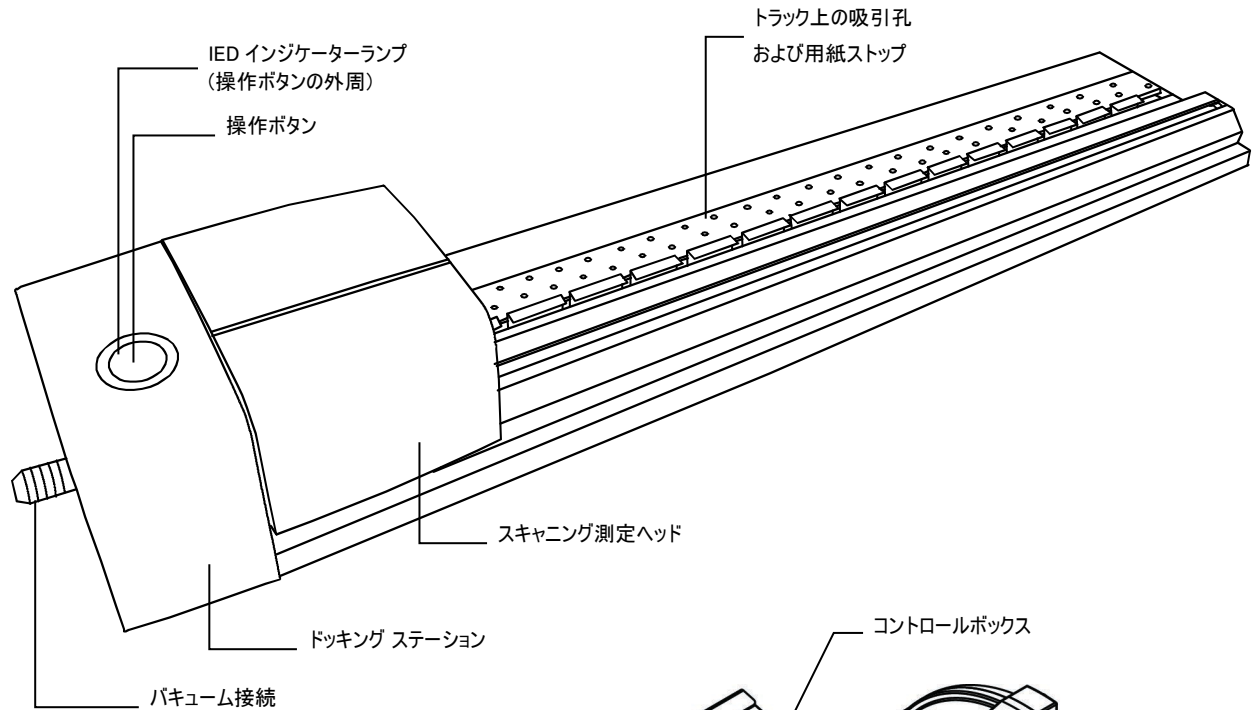
概要と設置	3
機器の説明	3
開梱と内容点検	4
システムの接続	4
バキュームポンプの接続	5
コンピュータ / モニタのインストール	5
イーサネット インターフェースの接続 / システム初期設定 スタンドアロン	6
電源の接続	6
フットペダル (オプション) を接続するには	7
接地接続機能 (オプション)	7
eXactハンドヘルド装置 (オプション) の接続方法	8
IntelliTrax2 Pro ソフトウェア	9
システム要件	9
IntelliTrax2 Pro ソフトウェアのインストール	9
リファレンスカード (Color Reflectance Reference) データのインストール	9
LEDランプ表示	9
システムの操作	10
用紙のセットおよび調整	10
IntelliTrax2 システムで測定	11
キャリブレーション	12
IntelliTrax2 システムのキャリブレーション	12
eXactハンドヘルド装置 (オプション) のキャリブレーション	13
キャリブレーション基準板の手入れ	13
eXactハンドヘルドで測定を行うには	14
その他	15
サービスについて	15
トラブルシューティング	15
スキャニング機器のリセット	15
メンテナンス	16
スキャニングヘッドの清掃 (月に1、2回程度)	16
スキャニングトラックの清掃 (月に1、2回程度)	17
白色基準板の清掃	18
リファレンスカード (Color Reflectance Reference) の清掃	18
スキャニングヘッドの取り外し	19
IntelliTrax2 リファレンスカードの測定手順	20
仕様	21
一般	21
操作環境	21
コンピュータに既定の静的IPアドレスを設定するには	22

概要と設置

機器の説明

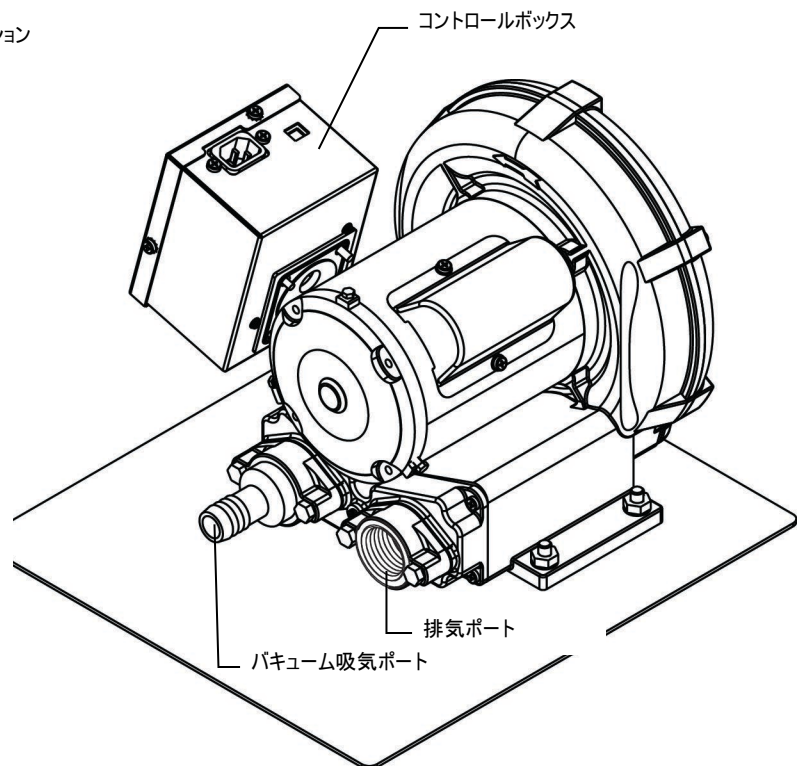
IntelliTrax2 シリーズの自動走査機器は、印刷現場での迅速なカラー測定を可能にすることで、枚葉印刷でのメイクレディ、本刷りにおける生産性を最大限に引き伸ばします。

本説明書は、測色計のインストール、操作およびメンテナンスについて説明しています。具体的な操作方法につきましては、IntelliTrax2 Pro ソフトウェアのオンラインヘルプに従ってください。



バキュームポンプ

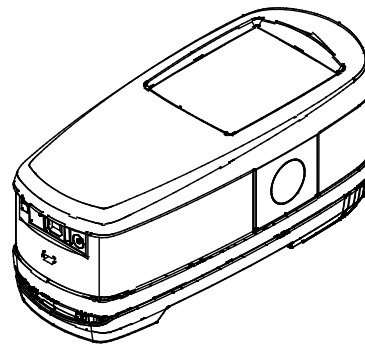
トラック上に 2 列に並んだ小さな吸引孔は、測定中にプレスシートを固定するのに使用されます。この固定のための吸引にはバキュームポンプを使用します。バキュームポンプはドッキングステーションに接続され、測定中に自動的に起動されるようになっています。



eXact のハンドヘルド分光濃度計 (オプション製品)

オプション製品としてシステムに付属する分光濃度計はスポット測定に使用します。

注記：使用前には必ずハンドヘルド機器の説明書をお読みください。

**開梱と内容点検**

納入時の梱包から機器を取り出し、傷がないか調べてください。もし何らかの傷が付いている場合は、直ちにお買い求めになった販売店にご相談ください。また、その際は製品のインストールはご遠慮ください。

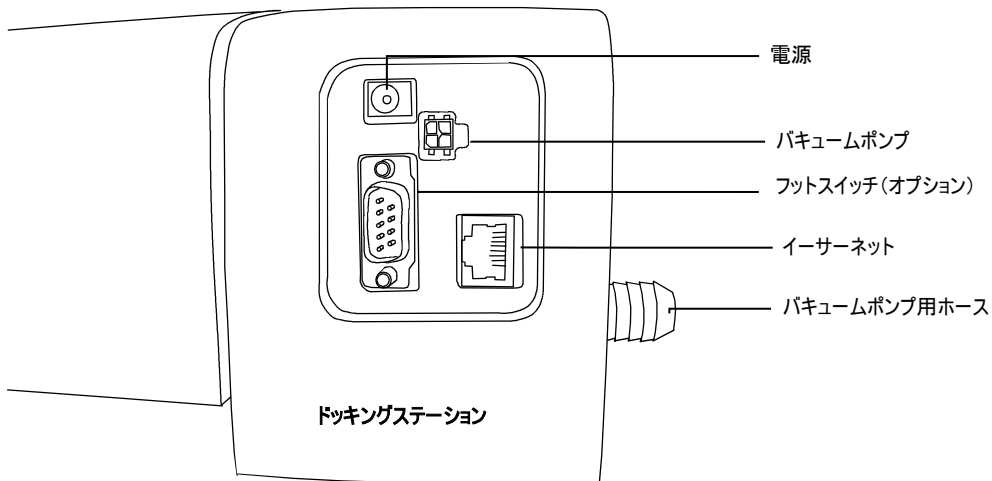
機器は、損傷を防ぐために特別な箱で梱包されています。修理などに機器を再梱包して出荷される時は、この梱包箱を使用して、全パーツを元通りに梱包してから出荷してください。

パッケージ内容

- IntelliTrax2 機器
- バキュームポンプ
- eXact ハンドヘルド機器 (オプションのアクセサリ)
- フットスイッチ (オプション)
- ケーブル
- ラインコード付き AC アダプター
- 基本操作の手引き
- 資料 (ソフトウェア、使用説明書、製品登録書、校正証明書)

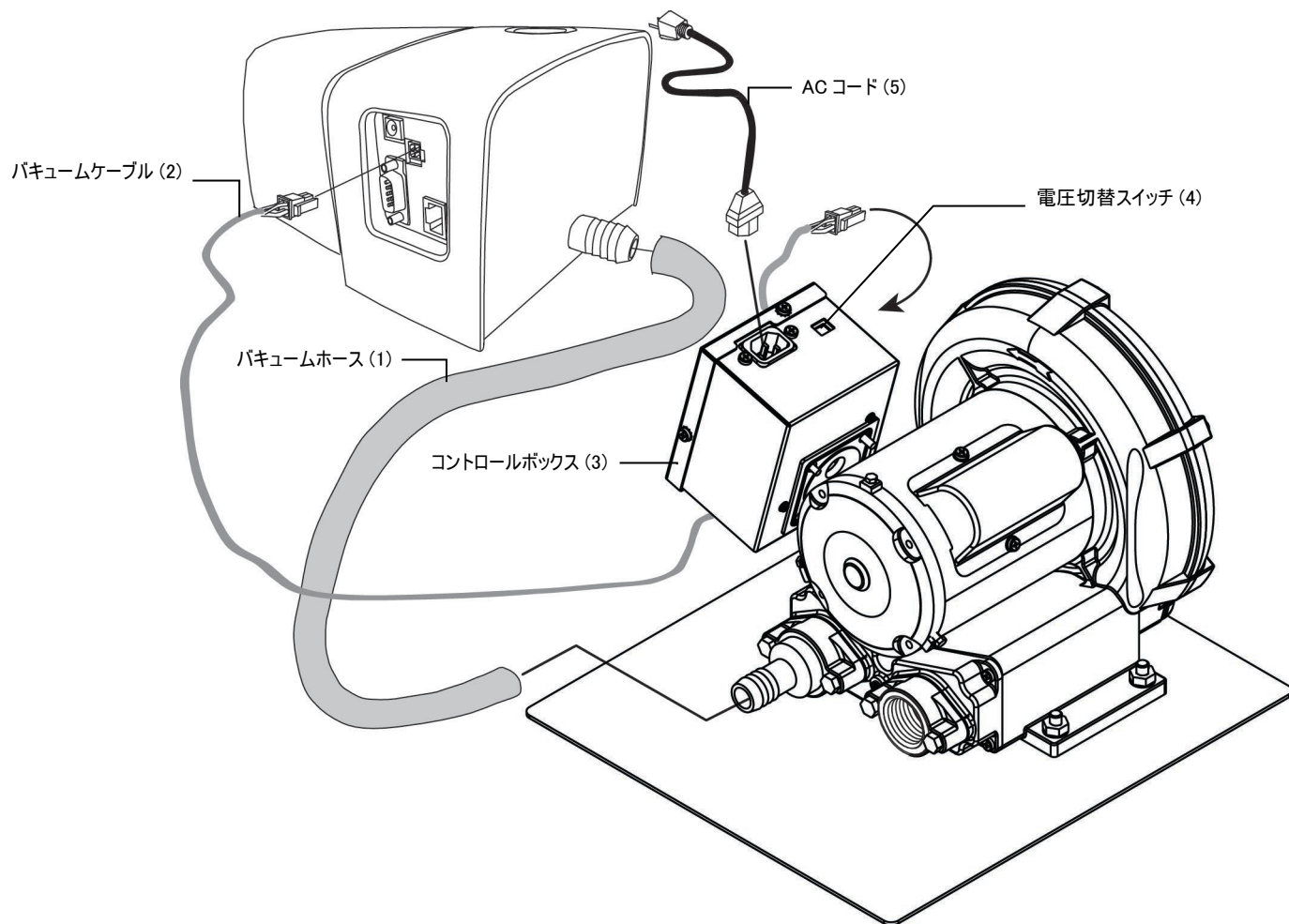
システムの接続

IntelliTrax2 システムを使用する前に装置の接続が必要です。各部品の接続方法は次のページで説明しています。



バキュームポンプの接続

1. バキュームホース (1) の片端をバキュームスイッチの吸気ポートに取り付け、もう一方の片端をドッキングステーション側の吸気ポートに取り付けてください。
2. バキュームケーブル (2) の片端をコントロールボックス (3) の端子に挿入し、もう一方の端をドッキングステーション背面の端子に取り付けてください。
3. コントロールボックス上部の電圧切替スイッチ (4) が、地域に合った正しい入力電圧に設定されていることを確認してください。
4. 取り外し可能な AC コード (5) コントロールボックス (3) に接続した後、アースコンセントに挿入します。



コンピュータ / モニタのインストール

お買い上げいただいたシステムにコンピュータおよびモニタが付属している際は、各製品に含まれる説明書のインストール方法をご参照ください。

イーサネット インターフェースの接続 / システム初期設定 スタンドアロン

付属のイーサネット ケーブル（クロス）は、ドッキングステーションの電源を入れる前に接続してください。イーサネット専用ポートは、ドッキングステーション背面にあります。イーサネット クロスケーブルの片端をコンピュータの専用ポートに挿入します。もう一方の端をドッキングステーションに挿入します。

注記:

IntelliTrax2 ハードウェアの初期設定 IP アドレス:

IP アドレス: 172.16.1.100

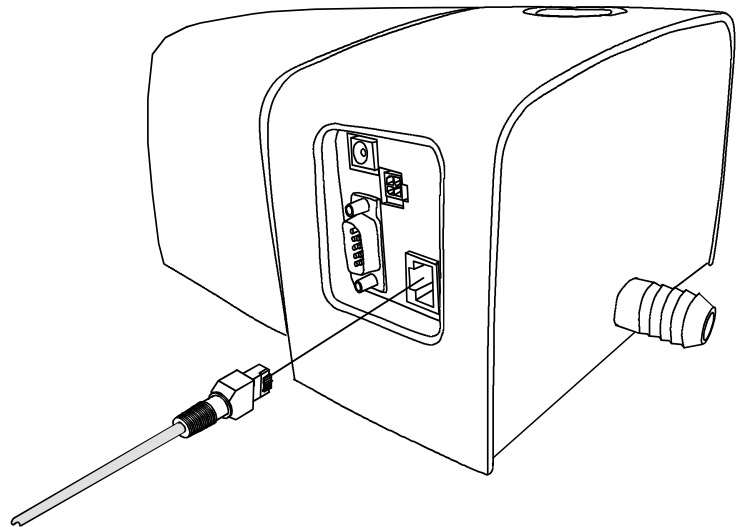
SubNet マスク: 255.255.255.0

システムをスタンドアロンで使用する場合、コンピュータの TCP/IP を必ず次のように設定してください。

IP アドレス: 172.16.1.1

SubNet マスク: 255.255.0.0

Windows コンピューターに IP アドレスを設定する方法は付録ページをご覧ください。

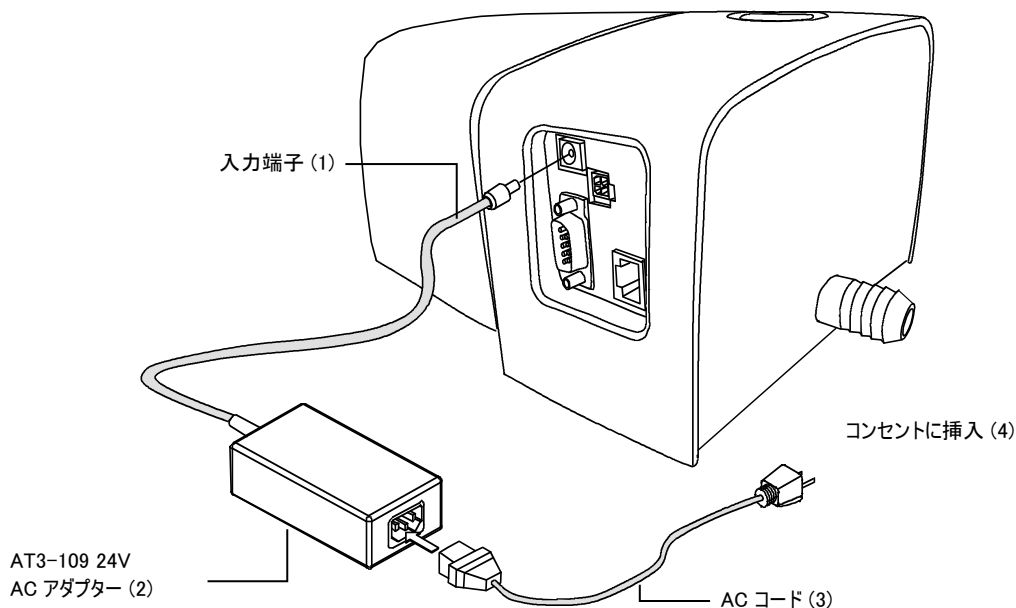


電源の接続

IntelliTrax2 システムでは AC アダプターをコンセントに挿入する前に、室温で安定させる必要があります。

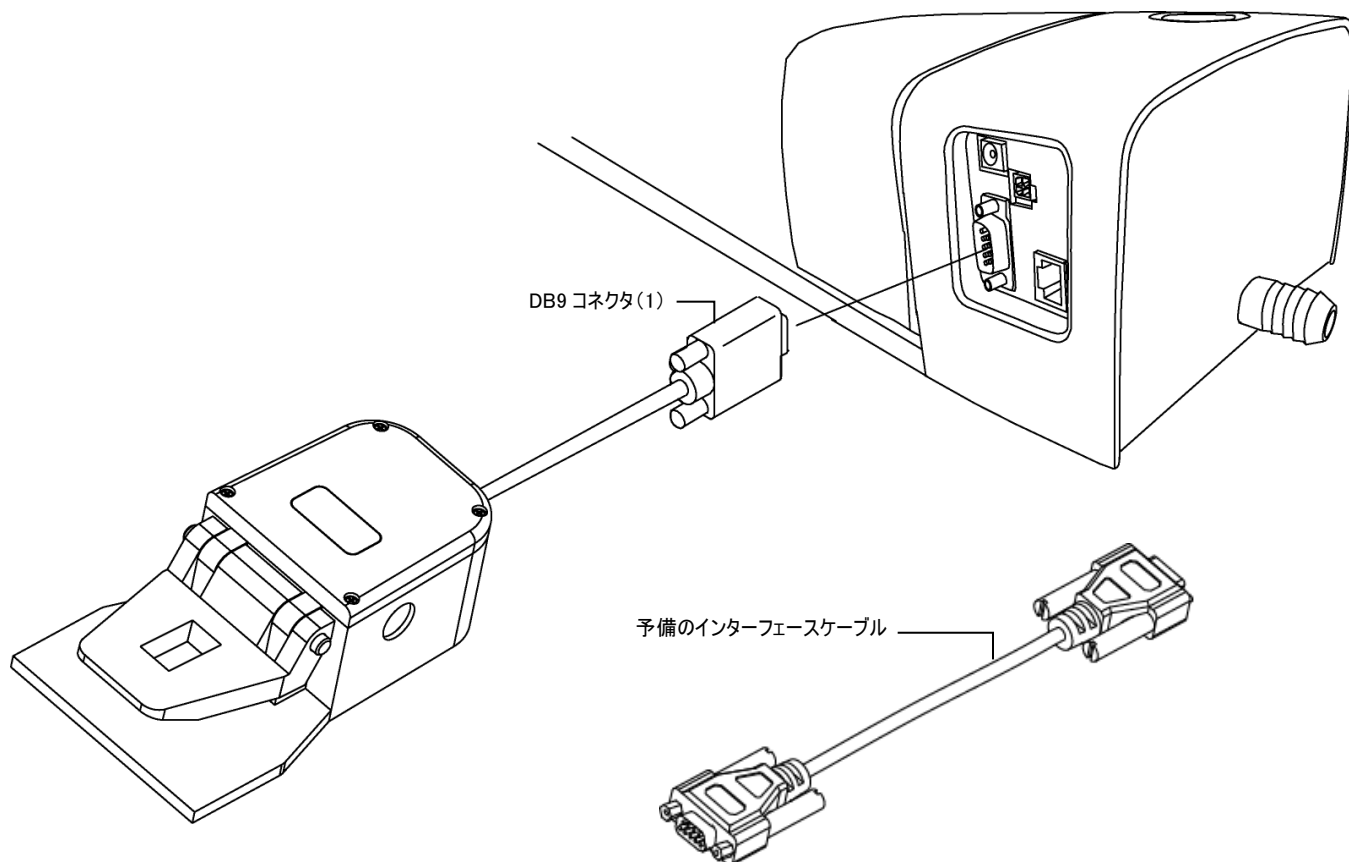
注記: 本製品は、24VDC、3.0A 向けの「class 2」または「LPS」と表記されたダイレクトプラグイン電源により供給されるものです。

1. AT3-109 24V AC アダプター (2) の入力端子 (1) をドッキングステーション背面の正しい位置に挿入してください。
2. 取り外し可能な AC コード (3) を AC アダプター (2) に挿入した後、アースコンセント (4) に挿入します。



フットペダル（オプション）を接続するには

フットスイッチのインターフェースケーブルから DB9 コネクタ (1) をドッキングステーション後方の I/O ポートに接続し、取り付けねじで固定してください。必要であれば、付属の予備インターフェースケーブル (2) で、ドッキングステーションからフットスイッチの距離を延長してください。



接地接続機能（オプション）



接地接続部はドッキングステーション下にあり、システムレベルの電気耐性を向上させると共に帯電防止を行います。（トラック底部）

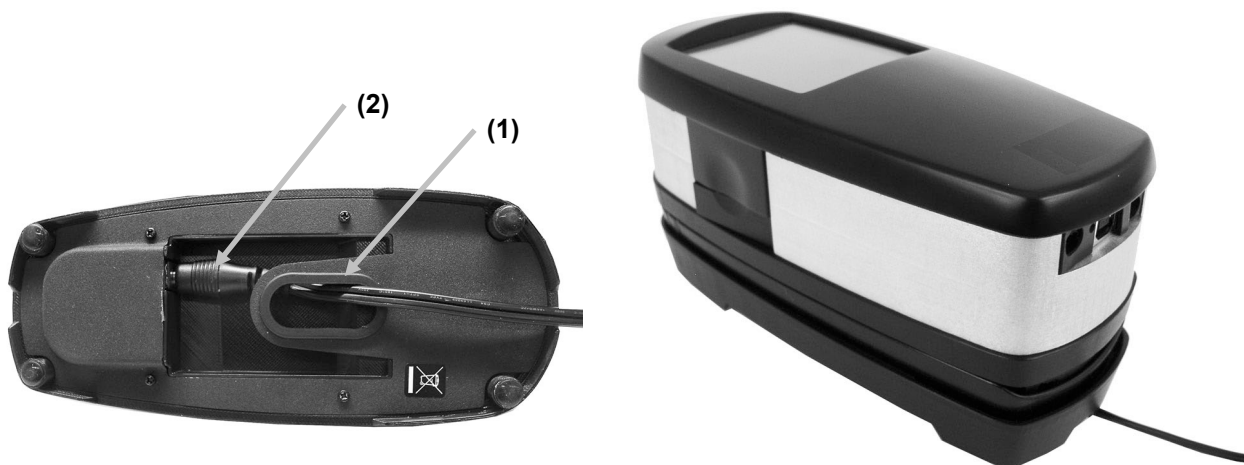
eXact ハンドヘルド装置（オプション）の接続方法



Operational hazard exists if an AC adapter other than X-Rite SE30-277 is used.

ACアダプターの定格電力 入力：100-240V 50-60 Hz、出力：12VDC @ 2.5A

1. 電源プラグをドッキングステーション裏側/中央のコード用の穴（1）に通します。
2. 電源プラグを入力端子に挿入します。（2）電源ケーブルは、ドッキングステーション下のどこからでも取り出すことができます。
3. 取り外し可能な AC コード を AC アダプター に挿入した後、アースコンセント に挿入します。
4. 本機をドッキングステーションにセットし充電します。



5. USB ケーブルを装置の背面に差し込みます。（3）
6. コンピュータの USB ポートに USB コネクタを差し込んでください。



注記：装置は Bluetooth® テクノロジーを採用しているため、コンピュータとワイヤレスでの通信が可能です。装置のデータはアプリケーションに転送することができます。USB ケーブルで装置を接続すると、ワイヤレス接続は解除されます。

ワイヤレス機能の設定に関しては、装置の使用説明書をご参照ください。

IntelliTrax2 Pro ソフトウェア

システム要件

- 2 GHz コンピュータプロセッサ (3 GHz 推奨)
- 最少 2GB、4GB 推奨
- Windows 10
- 100 GB 以上のハードドライブ
- 1280 x 1024 以上の解像度に設定された 15” タッチスクリーン
1920 x 1080 以上の解像度に設定された 17” タッチスクリーン (推奨)
- ネットワークカード

IntelliTrax2 Pro ソフトウェアのインストール

注記: Windows ファイアウォールやアンチウイルス プログラムを終了してください。ソフトウェアの再インストールまたはアップデートを行う場合は、IntelliTrax2 Pro の旧バージョンを削除してください。保存されたデータベースファイルは削除されません。すべてのデータ情報は保持されます。

IntelliTrax2 Pro のソフトウェアは Windows® の標準インストール手順でインストールします。

1. IntelliTrax2 Pro ソフトウェアのフラッシュドライブを USB ポートに挿入します。IntelliTrax2 Pro の設定画面が自動的に起動しない場合は、Windows Explorer を開き、USB ドライブの文字を検索してください。Setup.exe ファイルをダブルクリックします。
2. インストール手順が表示されます。画面に表示される指示に従ってインストールを完了してください。
3. ソフトウェアの使用については、オンラインヘルプをご参照ください。

注意: IntelliTrax2 Pro は SQL サーバーのフリーウェア・バージョンを使用しています。このバージョンは実質的に作動しますが、いくつかの制限があります。詳しくはデータベース管理ツールのオンラインヘルプをご覧ください。

リファレンスカード (Color Reflectance Reference) データのインストール

リファレンスカードを測定するには、リファレンスカード データがコンピュータにインストールされていなければなりません。

1. リファレンスカードデータのフラッシュドライブを USB ポートに挿入します。ファイルが自動的にインストールしない場合は、Windows Explorer を開き、USB ドライブの文字を検索してください。Install.exe ファイルをダブルクリックします。
2. 詳細は本説明書の付録をご参照ください。

LED ランプ表示

機器の状態を知らせる LED ランプは下記の通りです。

- 緑色の点灯: スキャニングヘッドがドッキングされており、使用可能です。
- 橙色の点灯: スキャニングヘッドがドッキングステーションから離れています。
- 赤色の点灯: ハードウェアの準備ができていません。システムに問題が生じた恐れがあります。
- 緑色の点滅: 測定中です。ステータスは OK です。
- 橙色の点滅: 機器はキャリブレーション中です。
- 赤色の点滅: ネットワークの準備ができていません。
- 赤色と緑色の点滅: スキャニングヘッドがドッキングされている時に測定エラーが発生しました。

システムの操作

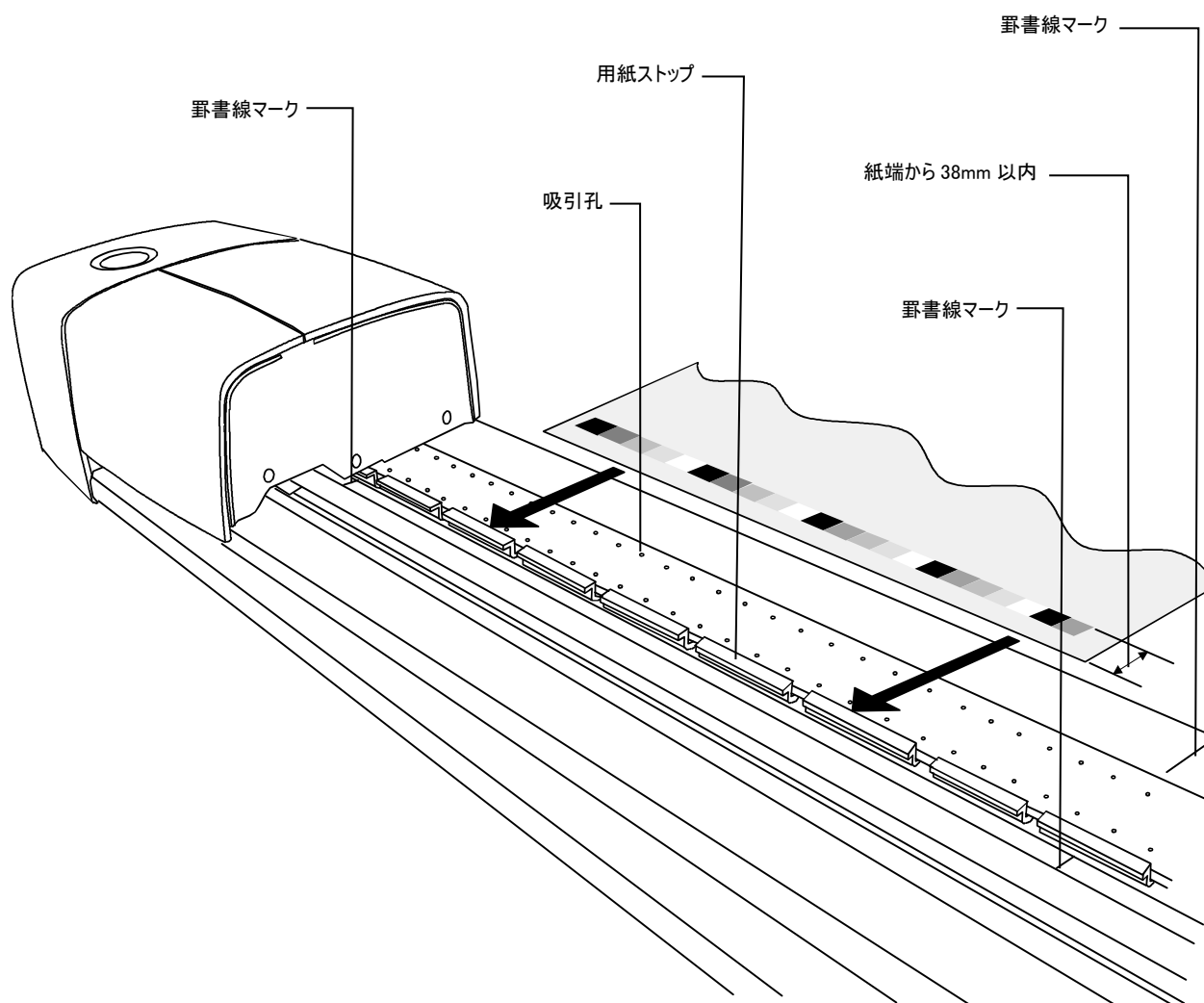
用紙のセットおよび調整

カラーバーの作成・選択手順に関してはオンラインヘルプを参照してください。下記はカラーバーの測定手順について説明しています。

印刷用紙は、IntelliTrax2 に素早くかつ簡単にセットできるようになっています。用紙は吸引孔の並ぶトラックの後方からセットします。

用紙をトラック上の罫書線マーク間に設定して測定します。

印刷用紙は、吸引口プレートの後端にある「用紙ストップ」にあてるようにしてセットしてください。用紙上のカラーバーは、用紙の紙端から 38 mm 以内に納まらなければなりません。



IntelliTrax2 システムで測定

用紙がトラックにセットされると、カラーバーの測定が可能になります。測定の指示方法は 3 通りあります。

- ソフトウェアから測定機能を選択します。
- ドッキングステーション上部にある操作ボタンを押して作動させます。
- フットスイッチ（オプション）のアクティベーション

詳しくは、ソフトウェアのオンラインヘルプをご参照ください。

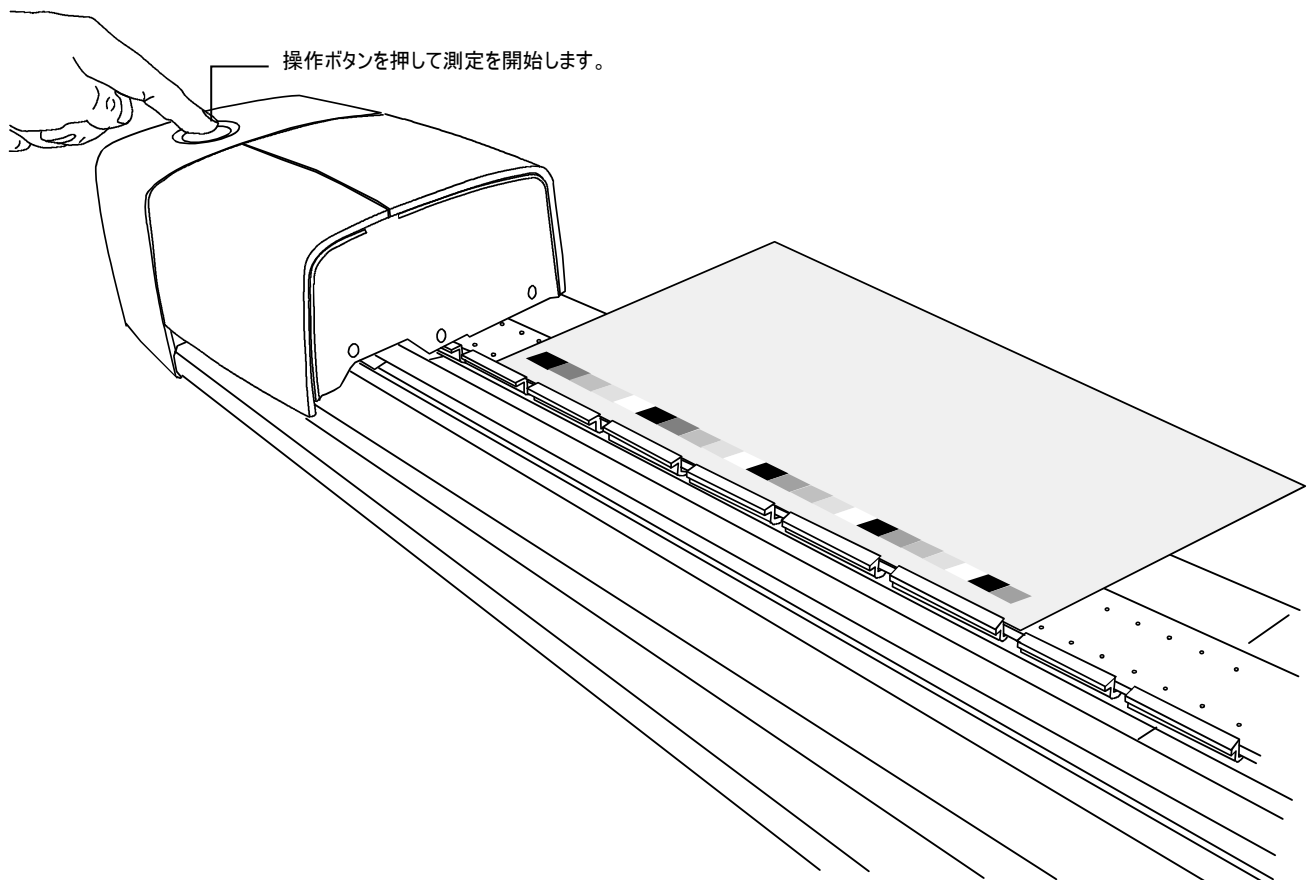
印刷用紙上のカラーバーが、多少曲がったり、広がったりしている場合でも、スキャンヘッド上の先読みセンサーの機能により、システムが自動的にスキャニングヘッドを調整しこれを補正します。この機能により、ほとんどすべてのカラーパッチを正確に測定することが可能です。

測定が開始すると、バキュームスイッチが作動し、ステーションの「緑」の LED 表示が、測定の進行を表す「緑の点滅」に変わります。測定結果は即時にコンピュータのモニタに表示されます。

未使用中は、バキュームポンプを Press Tool 内の [バキュームを停止] オプションを選択することで OFF にすることができます。詳細はソフトウェアのオンラインヘルプをご参照ください。

測定中に問題が生じた場合、スキャニングヘッドは即座にドッキングステーションに戻ります。その際には、コンピュータのモニタにエラーメッセージが表示されているかどうかチェックしてください。メッセージが表示されていない場合はシートを再測定してください。問題が解決しない場合は、本説明書の故障修理のセクションをご参照ください。

注記: カラーバーの測定を中止するには、操作ボタンを再度押します。



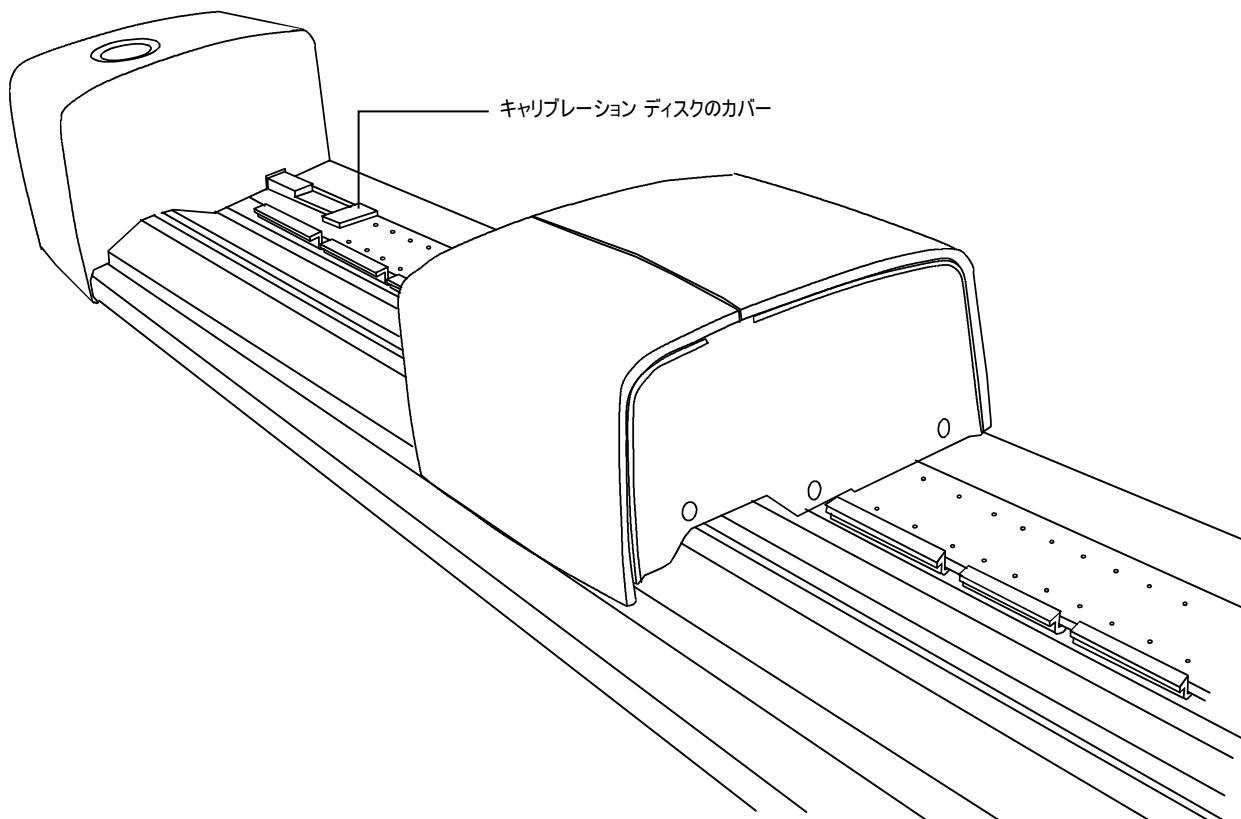
キャリブレーション

IntelliTrax2 システムおよびハンドヘルド機器の精度および安定した測定能力を保持するために、キャリブレーションを定期的に行ってください。キャリブレーションを実行する必要がある際には、通常、アプリケーションソフトから指示が出されます。IntelliTrax2 システムおよびハンドヘルド機器のキャリブレーションはユーザーが必要時に随時実行することも可能です。

IntelliTrax2 システムのキャリブレーション

スキャン機器のキャリブレーションはほぼ自動です。白色キャリブレーションの基準板はトラックの一部となっており、ドッキングステーションの側にあります。基準板は、スキャンヘッドがドッキングステーションから離れている際には、スライド式カバーで保護されています。システムは必要に応じて自動的に、またはアプリケーションからの指示によって白色基準板のキャリブレーションを実行します。

重要: 白色キャリブレーション基準板は、正確性を保つため、定期的に清掃してください。詳細は本説明書の付録をご参照ください。



eXact ハンドヘルド装置（オプション）のキャリブレーション

重要： キャリブレーション基準板は、しみや埃に大きく影響されます。装置の清掃は定期的に行ってください。下記の清掃手順をご参照ください。

装置にはキャリブレーションプレートがビルトインされており、必要に応じてキャリブレーションが自動的に実行されます。測定前にキャリブレーションが必要な場合は、装置にメッセージが表示されます。これは、装置のベースプレートが開いた状態（ロック解除）になっており、最後のキャリブレーションの期限が切れた時に表示されます。また、測定条件が変更され、その測定条件でキャリブレーションが実行されていないか、もしくは期限が切れている時にも表示されます。

キャリブレーションの指示が表示されたら、装置を平らな面に置き、[開始] ボタンをタップします。装置に残りの秒が表示され、キャリブレーションが実行されます。

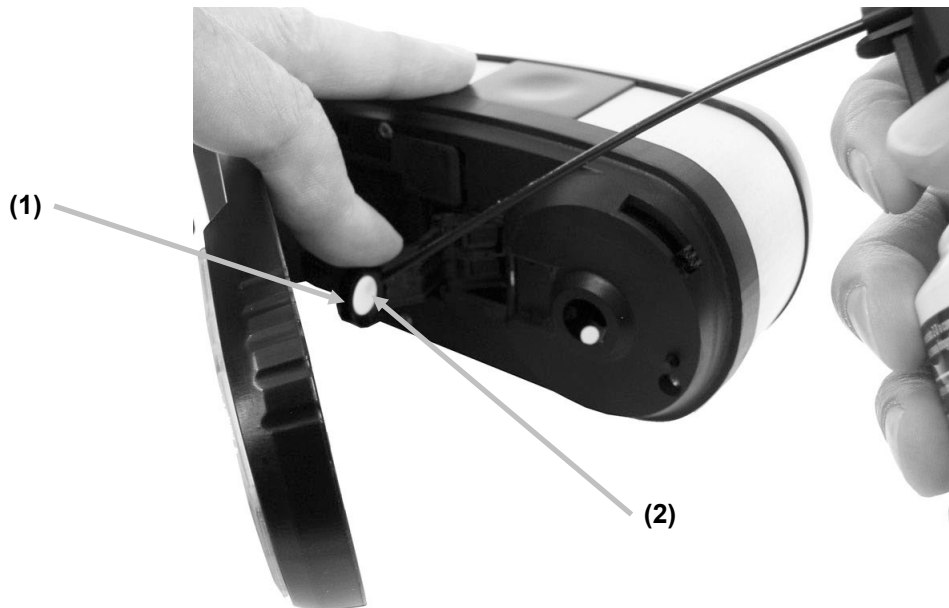
キャリブレーション基準板の手入れ

キャリブレーション基準板は、定期的に清掃してください。

洗剤や溶剤類は絶対に使わないでください。

キャリブレーションタイルは、リファレンスホルダーに搭載されています。

1. リファレンスホルダー（1）を後方に回転し維持します。
2. キャリブレーションタイルに空気（2）を吹き込んでください。これで、溜まった埃を取り除くことができます。



3. キャリブレーションホルダーを通常の位置に戻してください。

eXact ハンドヘルドで測定を行うには

ハンドヘルド装置は、必要に応じてインキ色およびスポットカラーの測定に使用します。装置のターゲットウィンドウのベースプレートは、サンプル上で平らに安定させて置いてください。

1. ターゲットウィンドウを測定サンプルの中心に合わせてください。ターゲットウィンドウ全体にサンプル色が埋まるようにしてください。
2. 本体をベースプレートにしっかりと押しつけます。測定値は、選択された測定条件と共に表示されます。



3. [完了] および測定データが表示されるまで、そのまま動かさずに装置を保持してください。[完了] は測定が正常に完了したことを表します。

測定中に装置を動かしたり、固定されていなかった場合は、コンピュータのモニタに何も表示されません。その際は、再度測定し直してください。



その他

サービスについて

IntelliTrax2 システムは、1 年間の無償の製品保証が付いているため、保証期間中に修理の必要があると思われる場合は、直ちに販売店にご相談ください。

修理はエクスライト株式会社にて行います。本機は光学系を始めとして精緻な構造になっています。本機を絶対に開けたり分解したりしないでください。

また、保証期間経過後も、引続き有償での修理を行います。その際は、郵送料および修理代にかかる費用は自己負担となります。また、送付の際には機器をオリジナルの梱包箱に入れて出荷してください。

トラブルシューティング

下記の方法で問題が解決しない場合は、お買い求めになった販売店までお問い合わせください。

機器の表示ランプが作動しません。

- 電源が ON になっていることを確認してください。
- 機器をリセットしてください。（「機器のリセット」参照）

赤が常時点灯します。

- システムにエラーが発生した恐れがあります。
- AC アダプターを差込から抜き（電源を Off）再び差し込みます（電源を ON）。
- 機器をリセットしてください。（「機器のリセット」参照）

機器とソフトウェアの通信が取れません。

- イーサネットケーブルが正しく接続されていることを確認してください。
- ソフトウェアを終了し、機器の電源を入れ直し、ソフトウェアを再起動してください。異常が続くようであればコンピュータを再起動します。
- システムがネットワークに接続されている場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- 機器をリセットしてください。（「機器のリセット」参照）

スキャニング機器のキャリブレーションに失敗します。

- キャリブレーション基準板および機器のオプチクスに汚れがないことを確認してください。（「メンテナンス」参照）
- ソフトウェアを再起動してください。
- 機器をリセットしてください。（「機器のリセット」参照）

スキャニング機器のリセット

次の手順でハードウェアを工場出荷状態の設定に戻します。

1. 機器の電源が入っており、スキャニングヘッドがドッキングされていることを確認してください。
2. 操作ボタンを約 10 秒間押し続けます。
3. 表示が橙から緑に戻ります。表示が緑に戻った時点で操作ボタンを離します。

メンテナンス

本機は、次に説明するような簡単な清掃を行うことにより、長期間にわたって安定した性能を発揮します。読取り精度を保つためには、このような簡単な清掃が必要です。

ハンドヘルド機器のメンテナンスについては、製品パッケージに付属する資料をご覧ください。



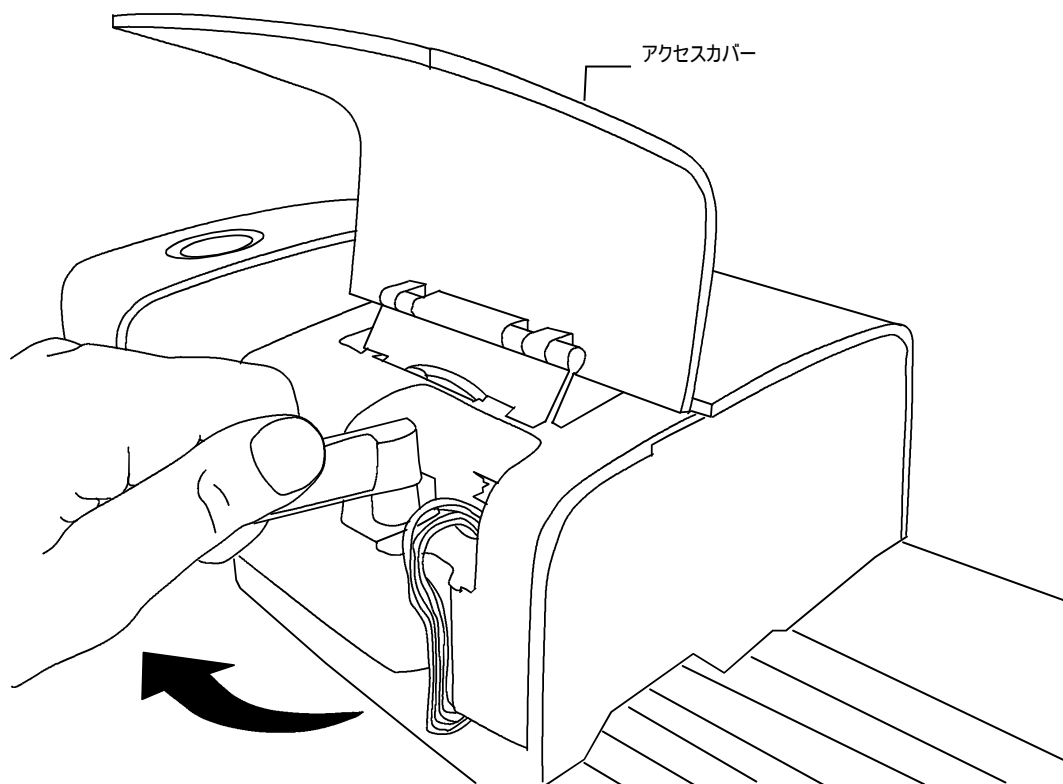
注意: ヘッドを清掃、移動、インストールする際は、接地したリストストラップをご使用ください。

スキャンヘッドの清掃 (月に 1、2 回程度)

溶剤や漂白剤は絶対に使わないでください。

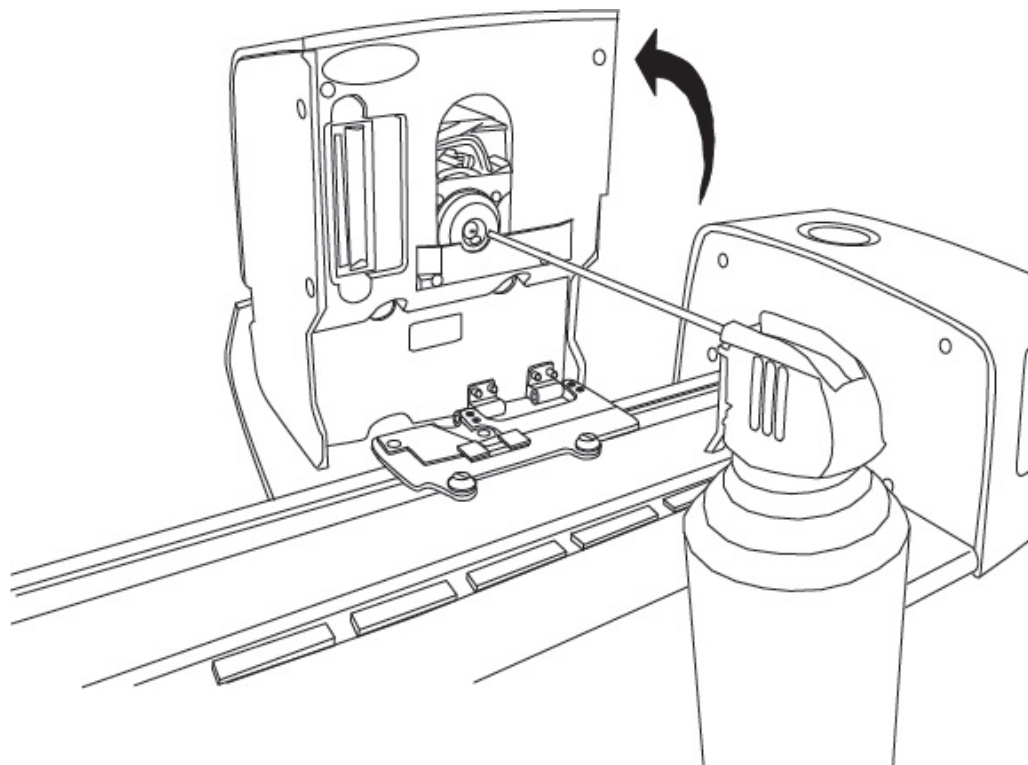
普通の使用において、スプレー噴霧、用紙の埃やちり、パウダーなどの汚染物質が機器のオプティクスに入る場合があります。そのため機器の感度が影響され、キャリブレーションエラーにつながる恐れがあります。下記の順序に従って、光学部品の清掃を行ってください。

1. きれいで乾燥した、また圧縮された空気を使用します。カメラのレンズを清掃する際に使用する同じ品質のものを使用してください。
2. IntelliTrax2 システムから電源アダプターを外し、スキャンヘッドをドッキングステーションから 2、3cm 移動させます。
3. スキャンヘッド背面のアクセスカバーを上げて、ロックレバーにアクセスします。
4. レバーを時計回りに 90 度動かします。



5. スキャンヘッド前端の下部を持ち上げ、後方に傾けながら底部が見えるようにします。

6. 空気の缶を注意して真っ直ぐに持ち、機器のアパーチャーに向けて空気を一気に入れてください。その際、缶のノズルをオブチクスより 10 mm 以上離してください。



7. スキャニングヘッドを注意して元の位置に下ろします。レバーを反時計回りに 90 度動かしてロック位置に戻します。
8. アクセスカバーを元の位置に下げ、AC アダプターの電源を入れます。
9. オブチクスを清掃することにより、埃や粉を取り除くことで、機器の感度に変化が生じます。このため、清掃後は必ずヘッドとトラックのキャリブレーションを行ってください。
10. スキャニングヘッドとドッキングステーションの表面は埃のない乾いた布（レンズクリーナーなど）で拭きます。

スキャニングトラックの清掃（月に 1、2 回程度）

トラック吸引孔内をクリーニングするために、バキュームポンプの吸気と排気のポートを逆にしないでください。これにより、トラックの埃が測定ヘッドのオブチクスに入ってしまう。

溶剤や漂白剤は絶対に使わないでください。

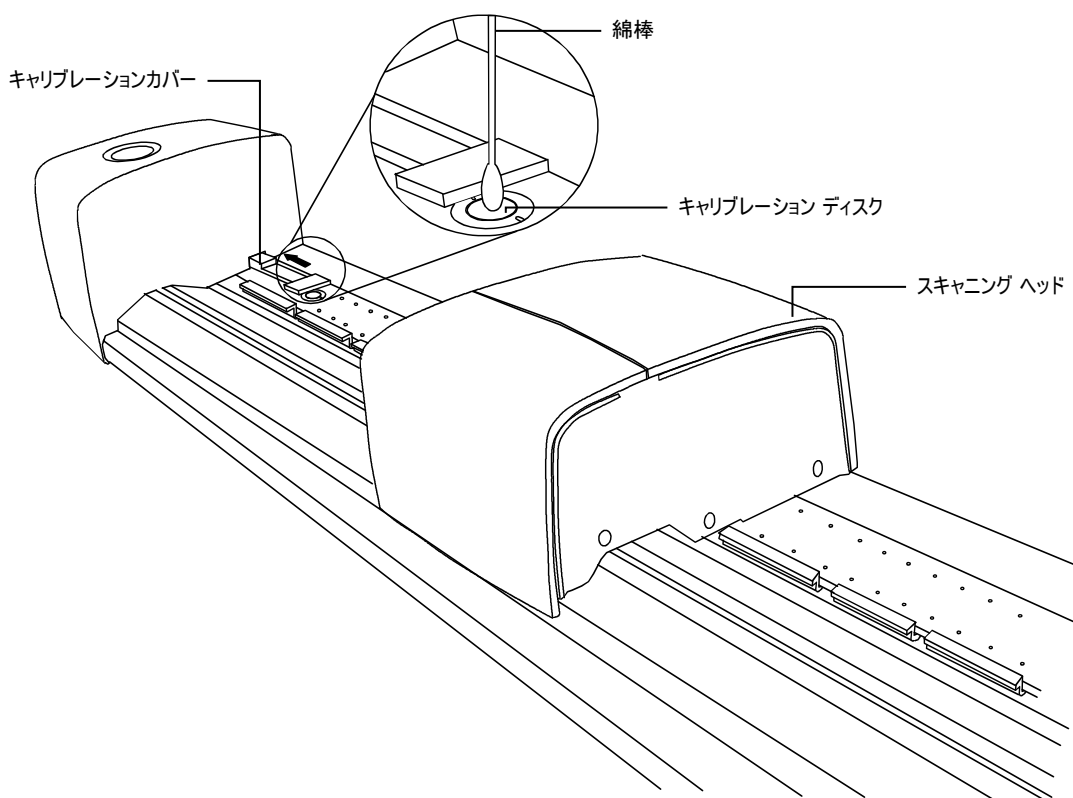
システムのいかなる部分にも、油を（種類を問わず）使用しないでください。

1. スキャニングヘッドとドッキングステーションの表面は埃のない乾いた布（レンズクリーナーなど）で拭きます。
2. トラックは、ガラス専用クリーナーを使って埃のない乾いた布（レンズクリーナーなど）で拭きます。必ずトラック全体を拭いてください。トラックがドッキングされた時に、ヘッドの下に位置する部分のトラックも清掃してください。スキャニングヘッドを清掃するには、手動でヘッドをスライドさせてから実施してください。
3. 圧搾空気を使用してトラック内から埃をすべて取り除いてください。

白色基準板の清掃

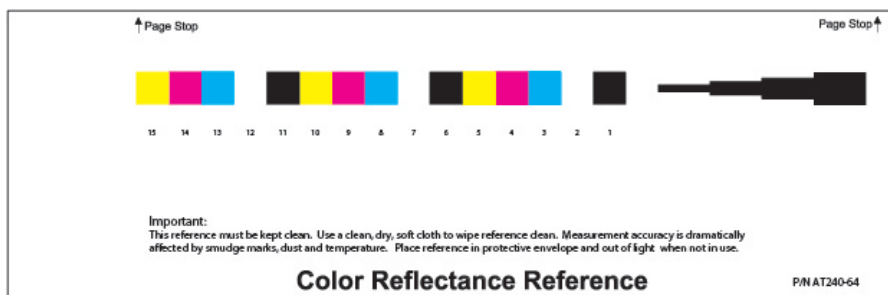
トラックの白色キャリブレーション基準板は毎日清掃が必要です。この清掃は 1~2 分で簡単に行えます。

1. 電源アダプターから IntelliTrax2 システムを離し、スキャニングヘッドをドッキングステーションから移動させます。
2. キャリブレーション カバーをドッキングステーションに向けて、白色基準板が見えるように引っ張ってください。
3. 白色キャリブレーション基準板を綿棒または埃のない乾いた布（レンズクリーナー用）で拭いてください。
4. 基準板に圧搾空気を吹き付けてください。
5. キャリブレーション カバー下に圧搾空気を吹き込んでください。
6. キャリブレーション カバーを元に戻し、スキャニングヘッドをドッキングステーションに向けて移動し、元の位置に戻します。



リファレンスカード（Color Reflectance Reference）の清掃

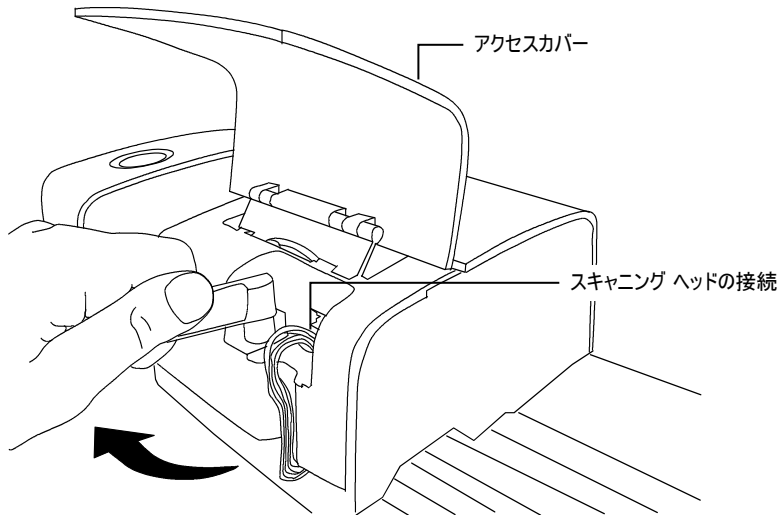
リファレンスカードは、しみ、埃や指紋に大きく影響されます。リファレンスカードは、レンズ拭きなどの柔らかい布できれいに拭いてください。また使用後は、直ちに専用の封筒に戻してください。



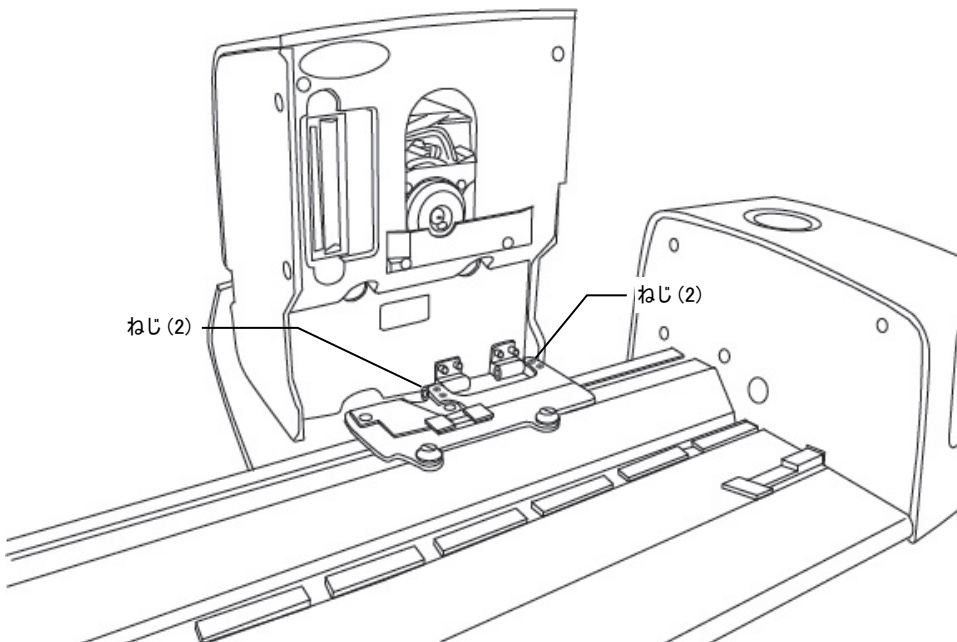
スキャンヘッドの取り外し

メンテナンスが必要になった場合、次の手順に沿ってスキャンヘッドを外してください。

1. 電源アダプターから IntelliTrax2 システムを離し、スキャンヘッドをドッキングステーションから 127mm 以上移動させます。
2. スキャンヘッド背面のアクセスカバーを上げて、ロックレバーにアクセスします。
3. レバーを時計回りに 90 度動かします。
4. ヘッドコネクタ両側にある 2 つのロックタブを押し合わせます。ラジオペンチを使用すると、ロックタブにアクセスしやすくなります。
5. コネクタをスキャンヘッドから外します。



6. スキャンヘッド背面のアクセスカバーを持ち上げ、後方に傾けながら底部が見えるようにします。
7. 片手でスキャンヘッドを押さえながら、トローリーに固定されているヘッドの 4 本のねじを外します。



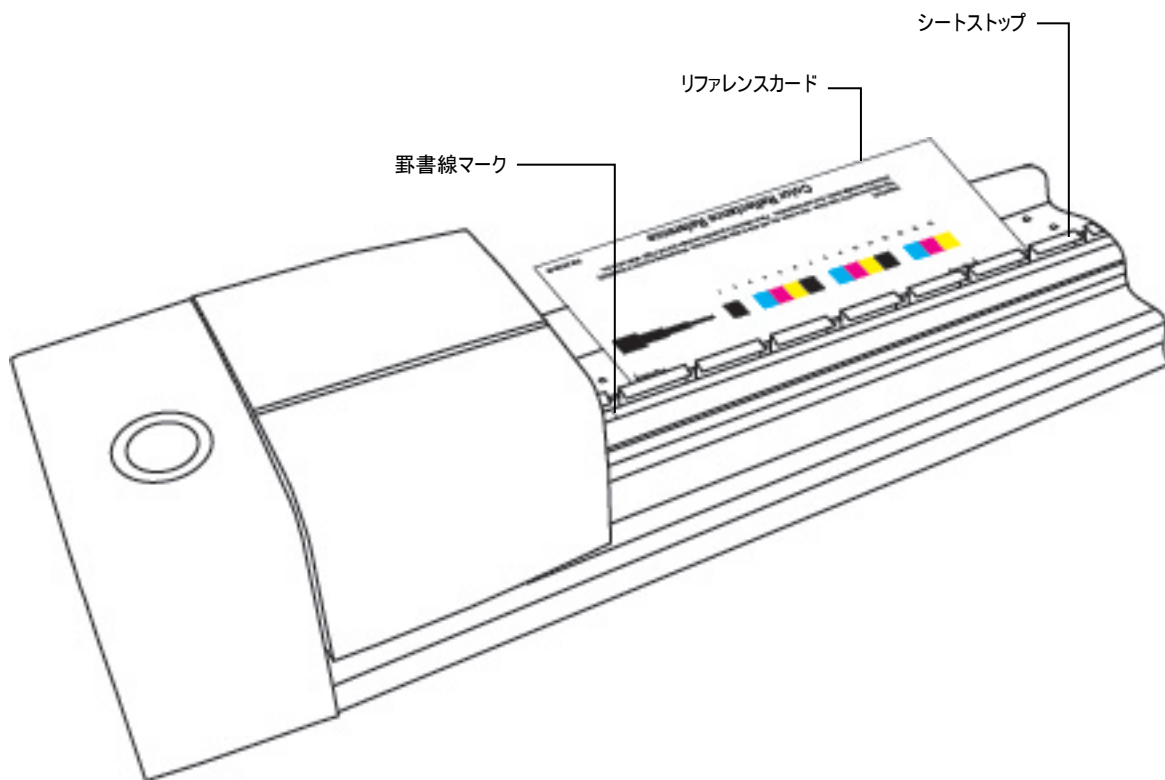
8. ヘッドをトローリーから外します。

IntelliTrax2 リファレンスカードの測定手順

リファレンスカード測定は IntelliTrax2 機器の性能をチェックする機能です。リファレンスカードの測定はいつでも行うことができます。

注記: 測定を行うには、リファレンスカードのデータがコンピュータにインストールされていなければなりません。

1. リファレンスカード (Color Reflectance Reference) を封筒から出してください。使用する前に、カードに汚れが付いていないことを確認してください。清掃が必要な場合は、「リファレンスカードの清掃手順」をご参照ください。
2. トラック上のリファレンスカードをスキャニングヘッド側の罫書線マークの横にセットします。リファレンスカードの指定された側が用紙ストップに対して正しくセットされていることを確認してください。
3. Press Tool から [リファレンスカードを測定] ボタンを選択し、測定を開始します。測定結果はモニタに表示されます。



4. アプリケーションでキャリブレーションチェックを開始する機能を選択してください。スキャニングヘッドがリファレンスカード上を移動し、元の位置に戻ります。

測定中は LED が緑で点滅し、測定が成功すると緑の点灯に変わります。これはコンピュータのモニタ上にも表示確認されます。

キャリブレーションチェックに失敗した場合 (コンピュータモニタに表示されます)、リファレンスカードおよび機器の光学系を本説明書で説明された手順で清掃し、キャリブレーションチェックを再度実行してください。問題が解決しない場合は販売店までお問い合わせください。リファレンスカードの交換が必要な場合もあります。(製品番号 ATS40-64)

5. 反射基準板を専用の封筒に保管します。

仕様

一般

光学幾何条件:	ANSI PH 2.17 に準拠する反射率 45° / 0°
測定径サイズ (アパーチャー)	小、中、および偏光フィルタ付きの中サイズ
照明光源:	ガス圧力 @ 2,850° K
分光システム:	DRS 測定: 31 ポイント
分光範囲:	400 ~ 700 nm
測定反射率範囲:	0 ~ 150% R
測定濃度範囲:	0 ~ 3.0D
繰り返し精度 (白色):	0.15 ΔE 最大、±0.01D 最大
濃度再現性:	シアン、マゼンタ、ビジュアルのフィルタ ±0.01D @ 1.5D イエローフィルタ 非 DP 測定ヘッドに ±0.02D @ 1.8D DP 測定ヘッドに ±0.03D @ 1.8D
キャリブレーション:	トラックに白色キャリブレーション基準板を内臓
測定スポットサイズ (実測エリア):	中スポットサイズ: 最小 2.0 mm x 2.75 mm 小スポットサイズ: 最小 1.2 mm x 2.75 mm 偏光スポットサイズ: 最小 2.0 mm x 2.75 mm
パッチ幅 (走査方向):	最小 3.0 mm
パッチ高さ:	中スポット: 3.0 mm 小スポット: 2.0 mm 偏光スポット: 3.0 mm
用紙の厚さ:	最大 1.0 mm
読取速度:	小 / 中スポット: パッチ幅 3 mm で 1 秒につき 60 mm 偏光スポット: パッチ幅 3 mm で 1 秒につき 60 mm
スキャナトラック幅:	1,016 mm (標準)、736.6 mm、812.8 mm、 1,422 mm、1,651 mm
カラーバーの位置:	紙端から 38mm 以内の全体
カラーバー調節:	カラーバーセンターに対して自動センタリング
カラーバー数:	用紙表面につき 1 列
用紙ホルド:	真空ポンプによる吸着 (測定時のみ)
電源:	110/240VAC、50 ~ 60Hz、4/2 A

操作環境

操作温度:	10°C ~ 35°C
湿度範囲:	0 ~ 85% RH (結露なし)
保存温度:	-20°C ~ 50°C
使用:	屋内のみ

デザインおよび仕様内容は、予告なしに変更することがあります。

コンピュータに既定の静的 IP アドレスを設定するには

既定の静的クロスオーバーケーブルで IntelliTrax ソフトウェアと通信するためにコンピュータを設定します。

Windows 8 および Windows 10 の手順

1. [コントロールパネル] を開き、[ネットワークと共有センター] を選択します。
2. [アダプターの設定の変更] をクリックします。
3. [ローカル エリア接続] を右クリックし、[プロパティ] をクリックします。
4. [ローカル エリア接続] ウィンドウから、[インターネット プロトコル 4 (TCP/IPv4)] をハイライト表示し、[プロパティ] をクリックします。[インターネット プロトコル 4 (TCP/IPv4)] のウィンドウが表示されます。
5. [インターネット プロトコル 4 (TCP/IPv4)] から、[次の IP アドレスを使う:] を選択し、次の値を入力してください。
 - IP アドレス： 172.16.1.1
 - サブネットマスク： 255.255.0.0
 - デフォルト ゲートウェイ： (空白にしておいてください。)
6. 上記の値を入力し [OK] をクリックした後、[閉じる] をクリックします。



エックスライト社

〒135-0064

東京都江東区青海 2-5-10

テレコムセンタービル 西棟 6 F

Tel (03) 6374-8734

Fax (03) 5579-6547

エックスライト社 米国本社

米国ミシガン州グランドラピッズ

Tel (+1) 616 803 2100

Fax (+1) 616 803 2705

エックスライト社 ヨーロッパ

スイス レーゲンズドルフ

Tel (+41) 44 842 24 00

Fax (+41) 44 842 22 22

各地域のお問い合わせ先は www.xrite.com でご覧いただけます。